

第二期沖縄市総合交通戦略

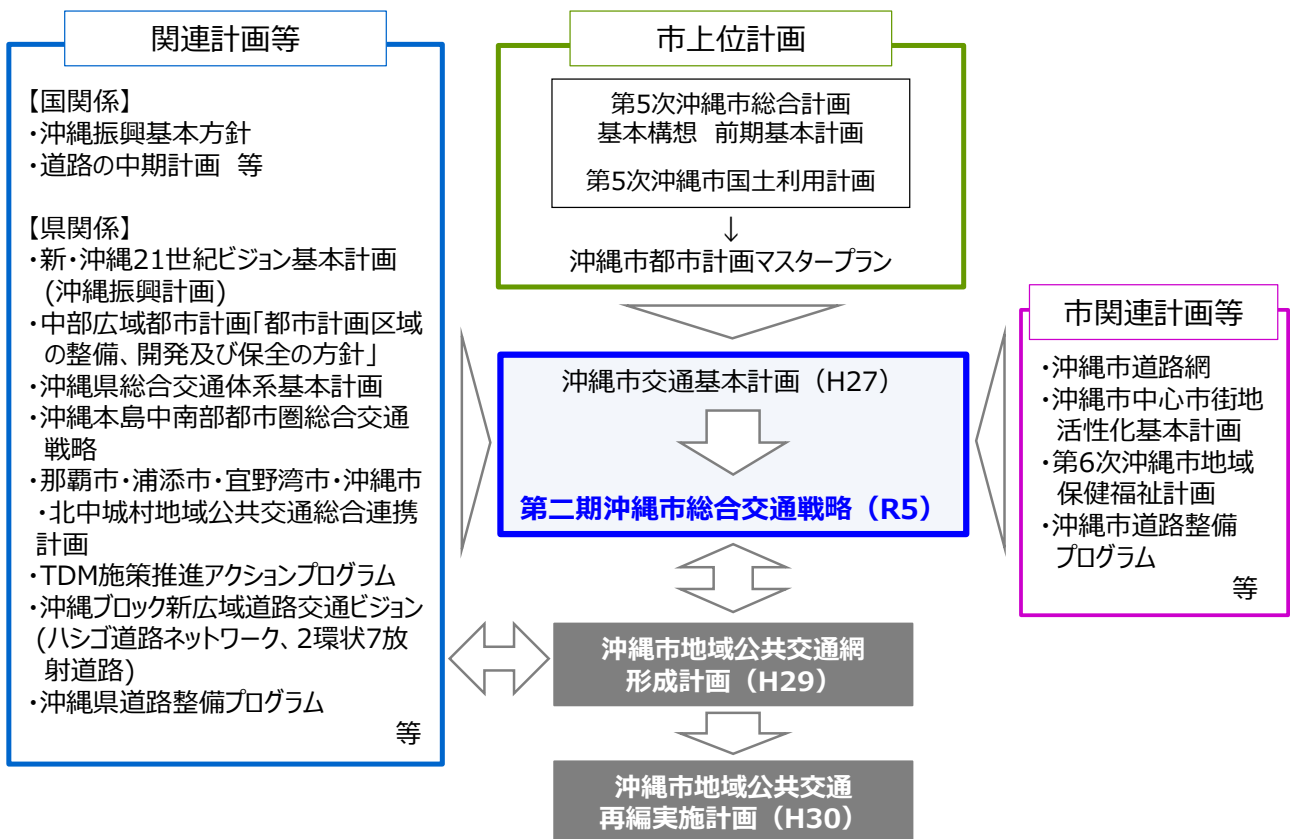
概要版

令和5年11月 沖縄市

目的

- 都市交通の課題に対し、沖縄市では「沖縄市交通基本計画」及び「(第一期) 沖縄市総合交通戦略」に基づく施策に取り組んできた。
- 「第二期沖縄市総合交通戦略」では、これまでの交通施策を踏まえつつ新たな施策の展開も含めて取りまとめており、引き続き「沖縄市交通基本計画」の実現に向けて具体的な内容や実施時期等を明示しながら総合的かつ戦略的に交通施策を推進していく。

計画の位置づけ



対象区域

- 沖縄市全域を対象とする。

目標年次

「第二期沖縄市総合交通戦略」の計画期間は「沖縄市交通基本計画」の期間である **令和17年度まで**とする。

基本方針と実施施策

基本理念 目標像

基本方針

交通施策方針

実施施策

基本理念

人・文化・環境を大切に
する交通まちづくり

目標像①
人の暮らしを支える、安全・安心なまち

目標像②
文化を育み、魅力あふれるまち

目標像③
環境にやさしく、未来につながるまち

《基本方針1》 快適な道路空間を有した体系的な道路網の構築	①体系的な道路網の構築	1	将来道路ネットワークの整備	県道24号線バイパスの整備 県道20号線の整備 安慶田中線の整備 室川照屋中通り線の整備 その他将来道路ネットワークを構成する道路の整備検討	
		2	道路整備プログラムの推進		
	②円滑な走行環境の確保	3	池武当インターチェンジ(仮称)の整備		
		4	池武当インターチェンジ(仮称)の周辺道路整備		
		5	主要交差点の改良	胡屋北交差点の改良	
				住吉交差点の改良	
	安慶田交差点の改良				
	6	パークアベニューの2車線化	登川交差点の改良 高原交差点の改良 その他主要交差点の改良		
	《基本方針2》 安全・安心な暮らしを守る交通体系の構築	③歩行者・自転車の安全性向上	7	自転車活用推進計画の策定	
			8	移動円滑化促進方針の策定	
9			道路空間におけるバリアフリー化の推進		
10		障がい者や高齢者への外出支援等の実施	障がい者への外出支援等の実施		
			高齢者への移動支援の実施		
11		保安灯設置事業の推進			
12	交通安全対策の推進	交通安全教育・運動の推進			
		生活道路へのゾーン30プラス等の導入促進			
④様々な災害に対応した交通体系の構築	13	密集市街地や消防活動困難区域の解消	交通安全対策施設の整備		
			違法駐車防止対策の推進		
	14	災害に強い道路網の構築	通学路合同点検の実施		
			安全マップの活用		
15	公共交通網の再編	安慶田地区			
		中の町地区			
16	公共交通の利用環境改善	その他密集市街地や消防活動困難区域の解消推進			
		緊急輸送道路の指定			
17	道路空間の魅力向上	緊急輸送道路ネットワークの推進			
		地域公共交通計画の策定			
18	地域・観光資源等への回遊性の向上	新たな公共交通の導入検討			
		基幹バスシステムの導入			
19	歩行環境の快適性向上	フィーダーバスの再編			
		コミュニティバス等の拡充検討			
20	モビリティマネジメントの実施	交通結節点(胡屋・中央地区)の整備			
		サブ交通結節点の整備			
21	かしこい自動車利用の推進	新たな端末交通の導入検討			
		快適な公共交通の乗降・待機場所の整備			
22	環境に配慮したクルマの移動支援	バスロケーションシステムを活用した発着案内板の整備の検討			
		パシフィックバスシステムの導入			
23	市民との協働による道路環境の維持	コミュニティバスへの電子マネー・ICカード等の導入検討			
		公共交通等利便性向上に資する情報発信			
24	地域と共に行う環境に配慮した道路交通施策の推進	国道330号の機能拡充			
		まちをPRするモニュメント等の設置			
25	⑩かしこくクルマを使う環境の構築	市内の周遊環境の構築			
		商店街における良好な通行環境の維持			
26	⑪地域と協働で進めるまちづくり	道路整備と連携した景観まちづくり			
		駐車場の利便性向上			
27	⑫環境にやさしく、未来につながるまち	多様な方々に対応した観光環境の整備			
		道路空間を活用したイベント等の実施			
28	⑬地域と協働で進めるまちづくり	ウォーキング教室の実施			
		観光型Ma a Sやシェアリングモビリティの導入検討			
29	⑭環境にやさしく、未来につながるまち	イベント時の交通円滑化対策の実施			
		案内システム等の整備			
30	⑮環境にやさしく、未来につながるまち	ポケットパーク等における休憩施設等の設置			
		時差出勤等の取り組みの推進			
31	⑯環境にやさしく、未来につながるまち	通勤・通学時の自動車からの転換の推進			
		パークアンドバスライド駐車場の整備			
32	⑰環境にやさしく、未来につながるまち	EV等のエコカーの導入推進			
		計画的な道路維持管理の推進			
33	⑱環境にやさしく、未来につながるまち	道路美化活動や花いっぱい推進運動の推進			
		交通まちづくりや環境に関するシンポジウム等の開催			

将来公共交通ネットワーク

- 胡屋・中央地区は広域的な連携を目指す都市間交流拠点として、コザ地区は市内の連携を目指す地区間交流拠点として位置づけ、サブ交通結節点を含めた拠点間をつなぐネットワークの形成により、市内各地区間の連携や広域との連携機能を確保する。

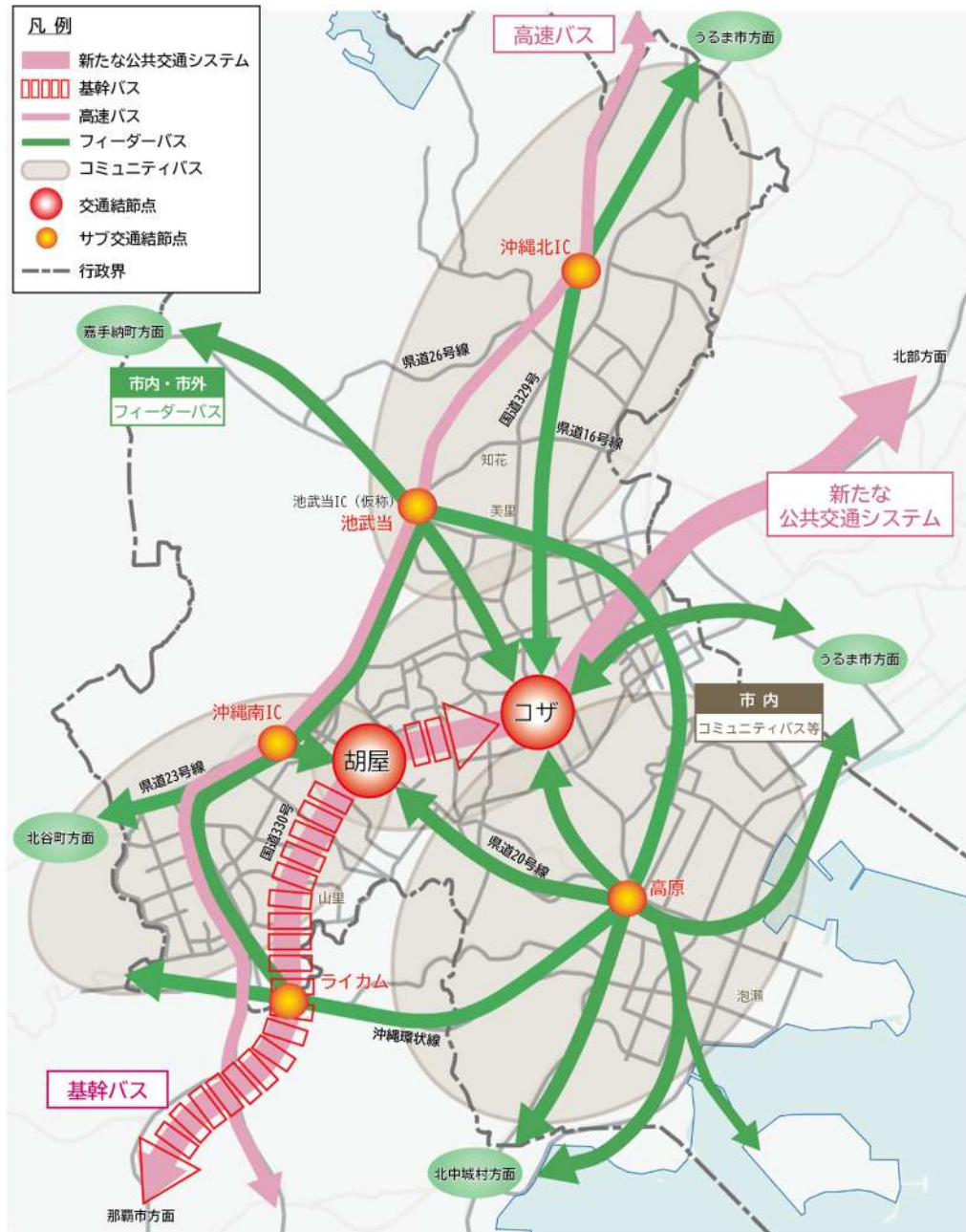


図 将来公共交通ネットワーク

公共交通手段等	概要	
広域的な移動を担う公共交通	新たな公共交通システム	鉄軌道を含む新たな公共交通システム
	基幹バス	本市と那覇市間において新たな公共交通システムを補完する公共交通
	高速バス	沖縄自動車道沿線の主要都市を結ぶ、定時速達性に優れ、広域的な移動に対応した公共交通
周辺市町村及び市内各地区への移動を担う公共交通	フィーダーバス	周辺市町村や市内各地区への移動に対応した公共交通
地区内の移動を担う公共交通	コミュニティバス等	市内各地区内の移動に対応し、フィーダーバスで補えない地域での移動を補完する公共交通
乗り継ぎ拠点	交通結節点	本市の核となる乗り継ぎ拠点
	サブ交通結節点	各地区の交通の要衝となる乗り継ぎ拠点

実施施策

基本方針 1 快適な道路空間を有した体系的道路網の構築

①体系的な道路網の構築

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.1 将来道路ネットワークの整備								
県道 24 号線バイパスの整備	→				◎			
県道 20 号線の整備	→				◎			
安慶田中線の整備	→			◎				
室川照屋中通り線の整備	→			◎				
その他将来道路ネットワークを構成する道路の整備検討	→			◎	◎	◎		
No.2 道路整備プログラムの推進								
道路整備プログラムの推進	→	→	→	◎				
No.3 池武当インターチェンジ(仮称)の整備								
池武当インターチェンジ(仮称)の整備	→	→	→	○	◎			
No.4 池武当インターチェンジ(仮称)の周辺道路整備								
池武当インターチェンジ(仮称)の周辺道路整備	→			◎	◎			

凡例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署



道路区分	概要
高規格幹線道路	沖縄県本島の各拠点を連絡する道路で、特に高い走行機能と交通処理機能を有する道路
主要幹線道路 (国道、県道)	都市間を連絡し、都市に出入する交通など、広域的な交通を処理する道路で、高い走行機能と交通処理機能を有する道路
幹線道路 (県道、市道)	主に主要幹線道路や周辺住宅地を結び、都市拠点へのアクセス機能を有する道路や、本市中心部への交通集中を緩和し、通過交通を処理する道路
補助幹線道路 (市道)	主要幹線道路、幹線道路で囲まれた区域内においてこれらの道路を補完し、区域内に発生集中する交通を効率的に集散させるための補助的な幹線道路
その他主要な道路 (市道)	その他、地域の骨格を形成する主要な道路
実現化検討道路	今後実現化を検討する構想道路

図 将来道路交通ネットワーク

②円滑な走行環境の確保

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.5 主要交差点の改良								
胡屋北交差点の改良	→					◎		
住吉交差点の改良	→			◎		○		
安慶田交差点の改良	→			◎		○		
登川交差点の改良	→			◎	◎	◎		
高原交差点の改良	→				◎			
その他主要交差点の改良	→				◎	◎		
No.6 パークアベニューの2車線化								
パークアベニューの2車線化	→			◎				

凡例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署



図 主要交差点の改良位置図



図 パークアベニューの整備イメージ

基本方針2 安全・安心な暮らしを守る交通体系の構築

③歩行者・自転車の安全性向上

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.7 自転車活用推進計画の策定								
自転車活用推進計画の策定	→			◎				
No.8 移動円滑化促進方針の策定								
移動円滑化促進方針の策定	→			◎				
No.9 道路空間におけるバリアフリー化の推進								
道路空間におけるバリアフリー化の推進	→			◎	◎	◎		
No.10 障がい者や高齢者への外出支援等の実施								
障がい者への外出支援等の実施	→			◎	○			
高齢者への移動支援の実施	→			◎	○			
No.11 保安灯設置事業の推進								
保安灯設置事業の推進	→			◎				

凡例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.12 交通安全対策の推進								
交通安全教育・運動の推進	→			◎			○	
生活道路へのゾーン 30 プラス等の導入促進	→			◎	○	○	○	
交通安全対策施設の整備	→			◎		○	○	
違法駐車防止対策の推進	→			◎	◎	◎		
通学路合同点検の実施	→			◎	○	○	○	
安全マップの活用	→			◎				

凡例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署



写真 交通安全施設整備の取組事例 (路側帯のカラー舗装)

出典：国土交通省「生活道路の交通安全対策一ータル」(静岡県駿東郡清水町の事例)



写真 通学路合同点検の様子



図 小学校区安全マップの例

④様々な災害に対応した交通体系の構築

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.13 密集市街地や消防活動困難区域の解消								
安慶田地区	→			◎				
中の町地区	→			◎				
その他密集市街地や消防活動困難区域の解消推進	→			◎				
No.14 災害に強い道路網の構築								
緊急輸送道路の指定	→	→	→	◎				
緊急輸送道路ネットワークの推進	→			◎	◎	○		

凡例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署

基本方針3 誰もが利用可能な魅力ある公共交通の実現

⑤ 将来公共交通システムの導入検討

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.15 公共交通網の再編								
地域公共交通計画の策定	→			◎				
新たな公共交通の導入検討	→	→	→	○	◎	○		○
基幹バスシステムの導入	→	→	→	○	◎			◎
フィーダーバスの再編	→	→	→	○	◎			◎
コミュニティバス等の拡充検討	→	→	→	◎				○
交通結節点（胡屋・中央地区）の整備	→	→	→	◎	○	◎		○
サブ交通結節点の整備	→	→	→	◎	○			○
新たな末端交通の導入検討	→	→	→	◎				○

凡例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署



図 胡屋・中央地区のバスターミナル



写真 コミュニティバス車両



写真 新たな末端交通のイメージ
(沖縄市 電動キックボードの実証実験)

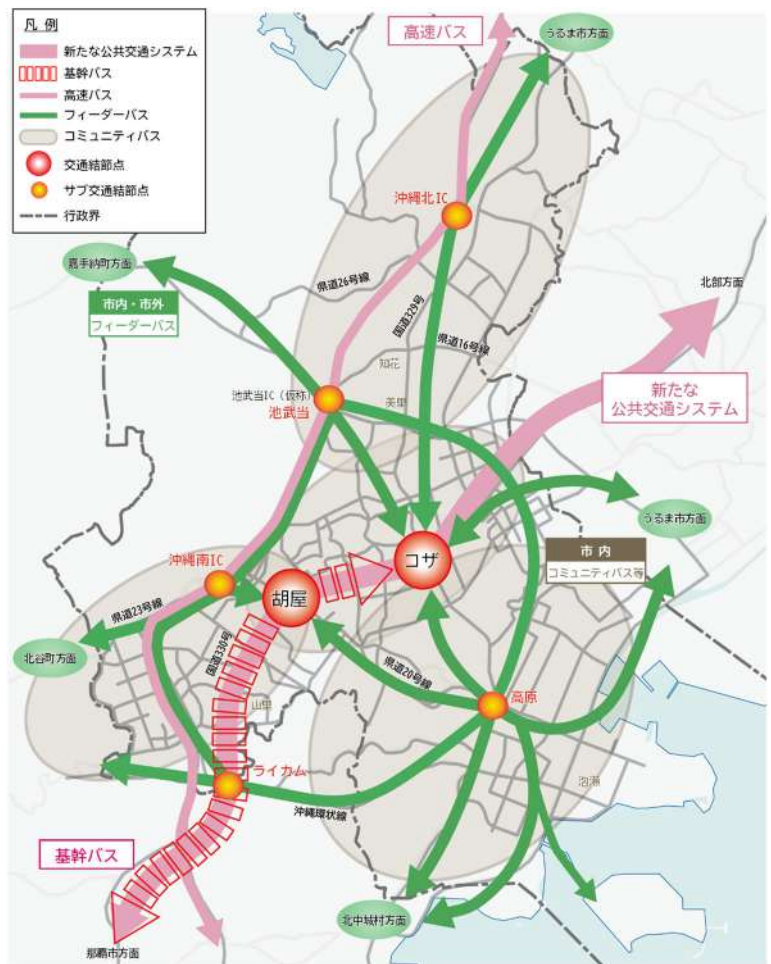


図 将来公共交通ネットワーク

⑥交通弱者にも配慮した公共交通のサービス水準・利便性の向上

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.16 公共交通の利用環境改善								
快適な公共交通の乗降・待機場所の整備	→			◎	◎	◎		◎
バスロケーションシステムを活用した発着案内板の整備の検討	→	→		◎	○			○
バリアフリーに対応した車両の継続した導入	→			◎	○	○		◎
コミュニティバスへの電子マネー・ICカード等の導入検討	→			◎				○
公共交通等利便性向上に資する情報発信	→			◎	◎			◎

凡 例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署



図 沖縄市のバスロケーションシステム「バス予報」



写真 コミュニティバスのスロープ板

基本方針 4 まちの魅力向上に向けた取り組み推進

⑦魅力的な道路空間の創出

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.17 道路空間の魅力向上								
国道 330 号の機能拡充	→			◎			○	
まちを PR するモニュメント等の設置	→			◎				
市内の周遊環境の構築	→			◎	○	○	○	
商店街における良好な通行環境の維持	→			◎			○	
道路整備と連携した景観まちづくり	→			◎	○	○	○	

凡 例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署



図 長期的な国道 330 号の沿線まちづくりビジョンの実現イメージ



写真 エイサーモニュメント

⑧魅力ある地域・観光資源等への回遊性を高める交通環境の充実

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.18 地域・観光資源等への回遊性の向上								
駐車場の利便性向上	→			◎			○	
多様な方々に対応した観光環境の整備	→	→	→	◎	○	○		
道路空間を活用したイベント等の実施	→			◎			○	
ウォーキング教室の実施	→			◎			○	
観光型Ma a Sやシェアリングモビリティの導入検討	→	→	→	◎	○	○	○	
イベント時の交通円滑化対策の実施	→			◎			○	

凡例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署



写真 道路空間を活用したイベントの様子



図 エイサーまつり時のシャトルバス・臨時駐車場の案内

⑨「歩いて楽しいみちづくり」の推進

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.19 歩行環境の快適性向上								
案内システム等の整備	→			◎			○	
ポケットパーク等における休憩施設等の設置	→			◎	○		○	

凡例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署

基本方針5 地域と共に行う環境に配慮した道路交通施策の推進

⑩かしくクルマを使う環境の構築

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.20 モビリティマネジメントの実施								
モビリティマネジメントの実施	→			◎	◎	◎		○
No.21 かしい自動車利用の推進								
時差出勤等の取り組みの推進	→				◎	◎	○	
通勤・通学時の自動車からの転換の推進	→			◎			○	○
パークアンドバスライド駐車場の整備	→			◎	○		○	○
No.22 環境に配慮したクルマの移動支援								
EV等のエコカーの導入推進	→			◎			○	

凡例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署



図 高校生向けバスマップ（コザ高校）の例
出典：わった～バス党 HP「バスマップ 高校一覧（コザ高校）」（令和4年度）

⑪地域と協働で進めるみちづくり

実施施策/事業名	実施スケジュール			実施主体				
	短期	中期	長期	沖縄市	県	国	市民・地域	公共交通事業者
No.23 市民との協働による道路環境の維持								
計画的な道路維持管理の推進	→			◎	◎	◎	○	
道路美化活動や花いっぱい推進運動の推進	→			◎			○	
交通まちづくりや環境に関するシンポジウム等の開催	→			◎			○	

凡例 → 検討 → 協議・調整 → 実施・整備 ◎：主担当 ○：関連部署

指標・目標値

- 前戦略の達成状況を踏まえ、第二期における計画目標を以下の通り設定する。

表 計画目標の達成状況を評価するための指標、目標値

指標	現況	中間目標 (R7・R12) ※現況との比較	目標 (R17) ※暫定	基本方針				
				1	2	3	4	5
主要渋滞箇所・区間の減少	3 区間 12 箇所 (R5)	減少	3 区間 7 箇所	○	○	○	○	○
自家用車分担率の低減	市全体	88% (R4)	減少	84%			○	○
	北部地区	85% (R4)	減少	81%			○	○
	中部地区	89% (R4)	減少	85%			○	○
	東部地区	94% (R4)	減少	90%			○	○
	西部地区	83% (R4)	減少	79%			○	○
公共交通分担率の向上	市全体	6% (R4)	増加	9%			○	○
	北部地区	7% (R4)	増加	11%			○	○
	中部地区	5% (R4)	増加	8%			○	○
	東部地区	3% (R4)	増加	5%			○	○
	西部地区	8% (R4)	増加	12%			○	○
主要観光施設入場者数の増加	389 万人/年 (R1)	増加	390 万人/年	○		○	○	
主要イベント参加者数の増加	718,971 人/年 (R1)	増加	720,000 人/年	○		○	○	
中心市街地における歩行者通行量の増加	6,729 人/日 (R1)	増加	8,500 人/日		○	○	○	
交通事故（人身事故）発生件数の減少	460 件/年 (R1)	減少	220 件/年		○	○		○
安心感の向上 (徒歩や自転車での移動時に歩道等の通行部が狭く（無く）危険と感じる割合)	41.0% (R4)	減少	20%		○		○	○

※第4回沖縄本島中南部都市圏パーソントリップ調査の結果を踏まえて目標値（R17）を再検討する。

※上記指標の公共交通分担率は、移動手段としてバスを利用する割合を示し、タクシー利用は含まない。

【基本方針の凡例】

1：快適な道路空間を有した体系的道路網の構築
2：安全・安心な暮らしを守る交通体系の構築
3：誰もが利用可能な魅力ある公共交通の実現
4：まちの魅力向上に向けた取り組み推進
5：地域と共に行う環境に配慮した道路交通施策の推進

フォローアップ

評価・検証・改善を実施する推進体制

- 計画の立案 (Plan)・計画の実施 (Do)・計画の評価 (Check)・計画の改善 (Action) を繰り返し (PDCA サイクル)、本計画を推進していく。
- 施策を確実に実施するためには、交通社会に参画する市民や地域、企業、交通事業者及び行政等の関係者が、それぞれが担う役割を理解し、協働・連携して、着実に計画を推進していくことが必要である。
- 5年ごとに各施策の進捗状況の評価を実施し、必要に応じて施策の内容やスケジュールの見直し等の改善を実施する。また、中間年となる令和12年度には、「第5次沖縄市総合計画」の改定・見直し内容との整合性や計画目標の達成状況の評価を合せて実施し、必要に応じて計画を見直すなどのPDCAサイクルを構築し、各施策を推進する。

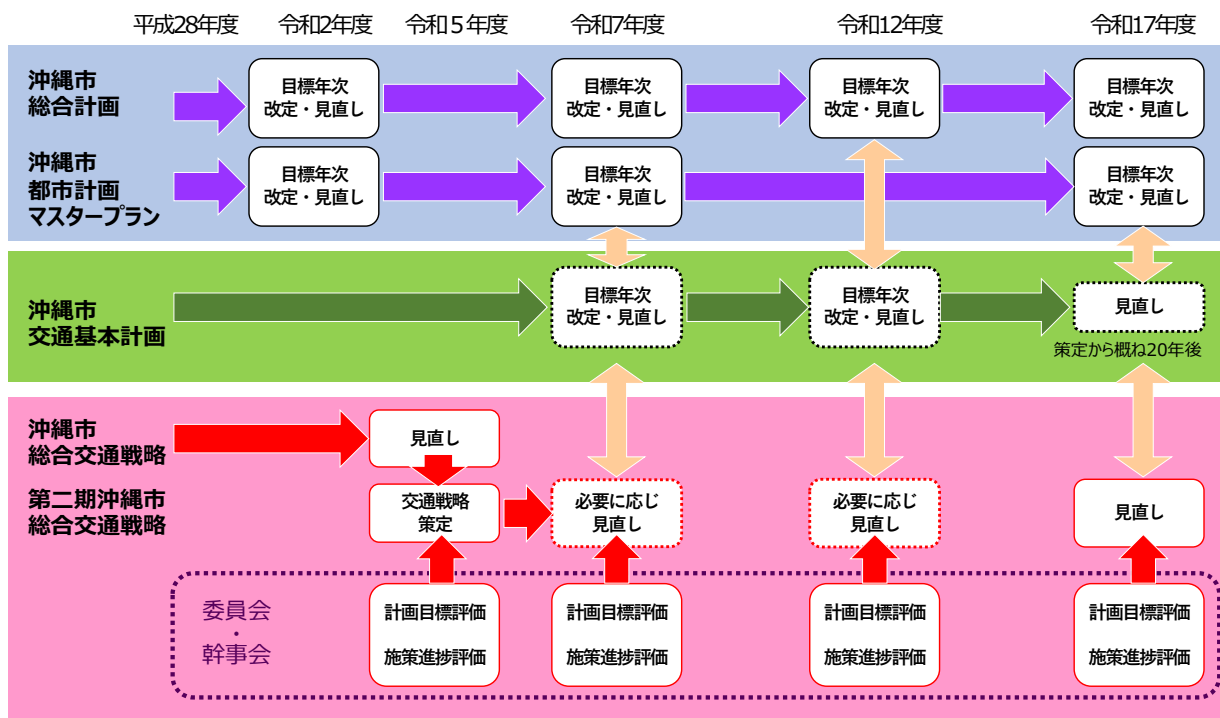


図 評価・改善の仕組みイメージ

【問い合わせ先】

沖縄市役所 建設部 都市整備室 都市交通担当
TEL: 098-989-9135 (直通)